



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。  
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

# JOCオリンピック教室

## 実施報告書

広島県 英数学館中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会



## 「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和4年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、  
オリンピック自身の様々な経験を通して  
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、  
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、  
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人 日本オリンピック委員会（JOC）
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート） ※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2022年4月～2023年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

### 1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、  
チームワーク、フェアプレー、  
身体を動かすことの楽しさ等を感じてもらいます。



### 2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、  
自身が感じたオリンピックの価値を生徒に伝え、  
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



## 1コマ目

### 運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介  
学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

## 2コマ目

### 座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、  
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、  
あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、  
分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、  
今後活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した  
自己紹介



オリンピック自身の経験に基づき「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ  
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です  
※内容はオリンピックによって変動する場合があります

#### ●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。



■ **オリンピック**：高尾 千穂 先生 (スキー／フリースタイル)【出場オリンピック／ソチ2014冬季大会】

■ **期 日**：2022年11月8日(火)

■ **ク ラ ス**：2年IMA・IMB組／運動の時間

○自己紹介 ～ 授業の目的確認 ～ 準備体操



- ・スキー／フリースタイル(スロープスタイル)でソチ2014冬季大会に出場したと自己紹介し、オリンピックバリューの3つの価値であるエクセレンス、フレンドシップ、リスペクトについて「ベストを尽くすこと」「チームで協力すること」「目的意識を持つこと」を意識して取り組んでほしいと授業の目的を伝える。
- ・準備運動として、現役時に実施していた数種類のストレッチと、ジャンプを取り入れた運動を実施。フリースタイルでは足に加え、背中周りをよく使用するため、足がしっかりと伸びていること、上半身の柔軟性を意識しながら取り組んでほしいと伝える。

○主運動 等



- ・主運動として「新聞紙でボール運びリレー」を実施(全2回)。各チーム2人1組で新聞紙を1枚広げて持ち、新聞紙の上にボールを乗せ、リレーを行う。
- ・作戦タイムでは、1回目より良い結果を出すため、「チーム内でペアを組み替えたことで速くなった」「大きな声で声援を送った」等、チーム毎に様々な工夫がある作戦の発表があった。



- ・運動の時間を振り返り、作戦タイムでは2回目のタイムを縮めるため、ただがむしやらに頑張るだけではなく、ボールの包み方を変えたり、ペアの組み合わせを替える等工夫ができていた。何事も目標を達成するためには、どのように行動するべきかをよく考え工夫し、実践することが大切である。特にスポーツは頑張りや気合だけではどうにもならないことがある。座学の時間では、運動の時間の取り組みが、どのようにオリンピックバリューの3つの価値に結びつくのか、皆で考える時間にしたいと伝え、授業終了。



■ **オリンピック**：高尾 千穂 先生 (スキー／フリースタイル)【出場オリンピック／ソチ2014冬季大会】

■ **期 日**：2022年11月8日(火)

■ **ク ラ ス**：2年IMA・IMB組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・スキー競技を始めた時期が遅く、普通の努力では周りの選手に追いつくことができなとを考え、毎日少しでも昨日の自分を超越することを意識し練習に励んだ。スキーを通してたくさんの人と出会うことができ、引退後も交流がある仲間やライバルは、自分にとってかけがえのない存在となっている。ソチ2014冬季大会直前で大怪我を負い、オリンピックの舞台では満足いく演技はできなかったが、多くの観客の方々が声援や拍手を送ってくれた。今でも思い出すと鳥肌が立つほど、特別な場所であったと振り返る。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：皆の生活の中にあるオリンピックバリューを書き出してみよう。

発表：エクセレンス：「全力で部活動に取り組む」「テストでベストが尽くせるよう努力した」「試合で最後まで諦めなかった」等

フレンドシップ：「失敗した時に励まし合う」「1つの目標を皆で協力し成し遂げる」「指摘し合うことができる」等

リスペクト：「教えてくれる人や、競技ができる環境に感謝する」「自分より優れている人を見た時、尊敬することができた」等



・座学の時間を振り返り、オリンピックバリューの3つの価値は身近な生活の中で多く存在するを感じられたと思うが、この3つの価値を忘れず、意識して過ごしてほしい。スポーツに限らず、今後の人生で見えてくるものが変わらと思う。運動の時間のように、これからもクラスの皆で協力し、より良い生活を送り、機会があればスキーにも挑戦してほしいと伝え、授業終了。

■ 集合写真

・2年IMA・IMB組



■ 記念品贈呈

・2年IMA・IMB組



■ 修了証贈呈

